

毎週のように複数の新機種がデビューするパチンコ市場は厳しい競争社会と言え、ユーザーからすれば次々に新商品を楽しめる現状はありがたい限りだ。2月から3月にかけても、注目機種がズラリ。お気に入りの1台がきっと見つかるはずだ。

人気シリーズ最新作はRUSH突入率約70%（時短引き戻しを含む）&RUSH継続率約86.3%と、「突入も継続もしやすいRUSH」がウリだ。RUSHはST100回転のオーソドックスなタイプ。シリーズ伝統の美しい映像も健在だ。中でも主人公・霞拳志郎と宿敵の劉宗武が激突する最強

リーチ「天授の儀」は必見だ。また、2つの金色の龍のギミックが現れ、1つの巨大な龍が形成される「天賜ギミック」も圧巻で、その迫力と美しさには感動を覚えるだろう。通常時は「金色」の演出出現がポイントだ。

© 原哲夫・武論尊/NSP 2001. 著作権許諾証YSM-130 © Sammy

大当たり確率
約 $\frac{1}{319.7}$

P弾球黙示録カイジ沼4 高尾 カイジVer.



稼働中

タイアップ元の原作「賭博黙示録カイジ」の中でも印象的なエピソード「パチンコ沼」がモチーフ。通常時の高期待度リーチとして「実写沼リーチ」と「歴代沼リーチ」がある。実写沼リーチでは3段クルーンのドキドキ感が味わえ、歴代沼リーチでは過去のパチンコのカイジシリーズ7機種の沼リーチを楽しめる。150回転の確変「超沼RUSH」でも天使クルーン出現で確変継続のチャンス、悪魔クルーン出現で時短移行のピンチとなるなど、クルーンが勝負の行方を左右する。

© 福本伸行/講談社
© 福本伸行/講談社-VAP
マッドハウス-NTV-D.N.
ドリームパートナーズ
© 福本伸行/講談社-VAP-NTV

大当たり確率
約 $\frac{1}{319.6}$

P蒼天の拳 双龍



サミー

稼働中

パラエティアー豊かな 新台が揃う!!

P笑点 サンセイR&D



導入開始

3/2~

1966年から半世紀以上にわたって放送される超長寿番組とのタイアップ機。液晶の演出モードは3種類。コミカルな「大喜利モード」、シンプルな「ドラムモード」、一発告知の「10舞モード」（座布団10枚で超チャンス）のいずれかを選んでプレイする。パチスロのノーマルタイプをパチン

© NTV © Sansei R&D

コで再現した「Aタイプパチンコ」第2弾で、6段階の設定があり、大当たりの合成確率などをもとに設定を推測しながら楽しみたい。また、通常時から大当たり中まで常に右打ちで遊ぶところが新しい。

※導入日は一部地域によって異なります

大当たり確率
約 $\frac{1}{169.7} \sim \frac{1}{115.9}$

PAスーパー海物語 IN地中海 SANYO



導入開始

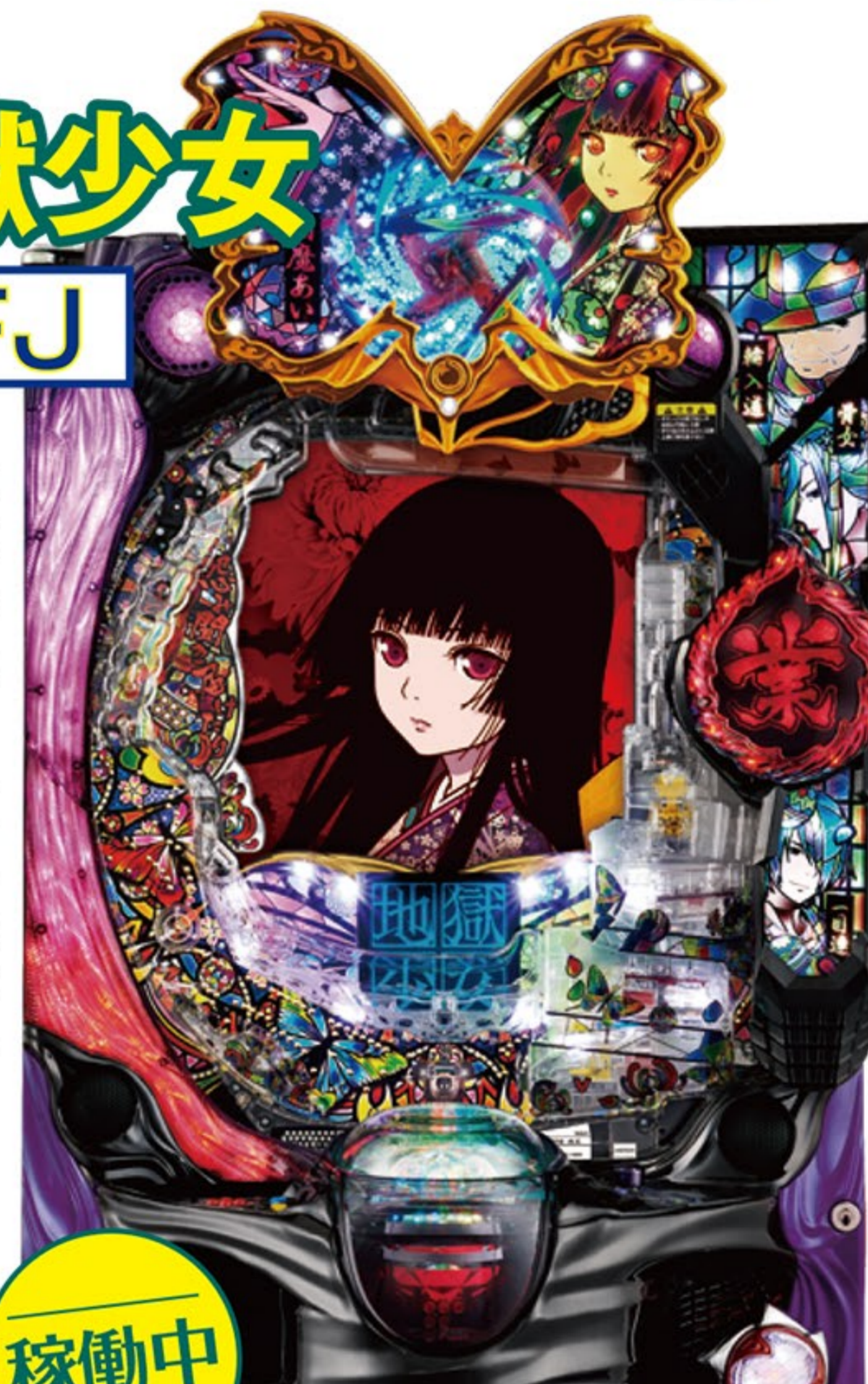
3/2~

不動の人気を誇る海物語シリーズは、その中でも細かくブランドが分かれている。大海物語、海物語、スーパー海物語etc. その中の1つ「地中海」の最新作が甘デジスベックで登場だ。最大の特徴はST20回転+時短80回転の「地中海チャンス」に突入すれば、継続率が約78%と高いこと。しかもこの地中海チャンスには初回大当たり後のST20回転中に大当たりすれば突入するため、突入率は約50%あり、ハードルは高くない。大当たり確率も約1/89と高めだ。

© SANYO

大当たり確率
約 $\frac{1}{89}$

P地獄少女 四 JFJ



稼働中

地獄少女といえば「蝶」。人気シリーズ最新作でも台枠上部の巨大な蝶のギミックが存在感を放つ。台枠右側の大きな「業快ボタン」にも注目だ。この2つのギミックは、従来のパチンコ機では定番だった台枠ギミックの上下への動きとは違い、プレイヤ

© 地獄少女プロジェクト/青加製作委員会

大当たり確率
約 $\frac{1}{319.7}$

大当たり確率
約 $\frac{1}{319.7}$



使用済み遊技機 適正処理へ体制万全

パチンコ業界は今年、大きな課題を抱えている。2018年2月1日の規則改正から3年が経過する2021年1月末までに、ホールに設置するすべての遊技機を新規の適合を受けた遊技機に入れ替える必要がある。そこで問題になっているのが、大量に排出される使用済み遊技機の廃棄の問題だ。

日工組（日本遊技機工業組合）では、使用済み遊技機を適正に処理するために、日工組回収システムを構築している。ホールは回収システムに処理を依頼するとWEBによる「回収台処理管理システム」で処理状況を照会することができる。

このシステムにおける指定再生処理会社は4社あり、関東、中部、関西、九州に回収センターと処理工場を構えており、全国のどのホールから処理依頼があっても対応できるような環境を整えている。

日工組（日本遊技機工業組合）では、使用済み遊技機を適正に処理するために、日工組回収システムを構築している。ホールは回収システムに処理を依頼するとWEBによる「回収台処理管理システム」で処理状況を照会することができる。

パチンコホールの全国組織、全日遊連（全日本遊技事業協同組合連合会）が毎月公表している組合加盟店舗の1月末現在のパチンコ設置台数は約235万台、パチスロ設置台数は約152万台。そのうち6〜7割が旧規則機と思われるが、2021年1月末までに新規規則機に入れ替える時期を迎える。仮に、多くのホールが設置できる有効期限まで使用すれば、2020年の年末頃から大量の使用済み遊技機が発生。ほぼ同時期に多くのホールから撤去台が排出された場合、一度に処理できる台数を上回る可能性は否定できない。

こういった状況により問題が発生しないように日工組では、メーカーによる下取りの際に、併せて倉庫にある旧規則機も下取りに出してもらおうという早期回収を進めている。たとえば、集中する廃棄の緩和を図ったり、業界団体が選定している遊技機リサイクル選定業者を利用することを働きかけている。こうした処理の促進を講じることにより「業界一丸となって適正処理を推進していきたい」と、万全の体制で乗り切る構えだ。



「リサイクル工場」(写真提供:ユーコーリプロ)